

(1) 報告タイトル：COVID-19 診断に胸部 CT が有用であった症例

著者名：著者の意向により非公開

所属機関名：著者の意向により非公開

(2) 症例：30代女性

(3) 経過：生来健康、特記すべき既往なし。X-3 日夜より 39 度台の発熱が出現した。発熱が持続するため、近医でインフルエンザ迅速抗原検査を施行されたが陰性であった。自宅療養していたが、発熱が持続し嘔気も伴ったため、X 日当院救急外来を受診した。来院時、意識清明、体温 38.1℃、SpO₂ 94%(室内気)、呼吸数 30 回であった。胸部 CT で多発すりガラス状陰影を認めたことから、咽頭ぬぐい液の SARS-CoV2 PCR を保健所に提出し、帰宅とした。X+1 日に陽性が確認され、感染症指定医療機関に入院となった。

(4) 考察：本症例診断時、当該地域では COVID-19 の確定例は存在せず、どのような患者に PCR 検査を行うか不確定な状況であった。現在、COVID-19 診断に胸部 CT が有用とされており、ground glass appearance (GGA) や多葉に渡る分布など報

告されている。本症例でも CT を撮影しその所見を
ふまえて、PCR 検査を行う決断に至った。感染曝
露や検査室汚染の問題もあるが、CT を撮影するこ
とは本疾患の診断に有用と考える。

(5) 結論：胸部 CT は COVID-19 の診断に有用であ
る

(6) 引用文献：Salehi S. et al. Coronavirus
Disease 2019 (COVID-19): A systematic review
of imaging finding in 919 patients. AJR
215:87-93, 2020

(7) 図・写真の説明：

胸部レントゲン：両側下肺野すりガラス状陰影

胸部 CT：両肺に多発する末梢優位の斑状すりガラ
ス状陰影を認める

(8) 表：なし

(9) 図・写真

